

2021年度実施 大学入学共通テスト 国語 文字数を分析 数学でも文字数増

2021.01.22

2021年1月16日、2021年度(令和3年度)大学入学共通テスト1日目が行われました。

内容理解を問う新傾向の問題や複数テキストでの出題もみられましたが、概ねセンター試験と同程度の文章量・難易度となり読解力が求められました。

しかし、数学では問題のページ数が大幅に増え、理科、社会でも資料・図表の読み取りが多く、読解力や思考力が試されました。



文字数は20,520文字で例年通り

文字数は大問1 評論が約7,110文字、大問2 小説が約7,920文字、大問3 古文が約3,450文字、大問4 漢文が約2,040文字でした。合計は20,520とプレテストと同等の文章量でした。

近年のセンター試験2017年25,110文字、2019年23,870文字よりは減少していますが、複数の資料や文章を読み解く問題が出題され難化しています。

2021年実施 大学入学共通テスト(国語)【問題構成】 (200点満点 80分)

| 大問 | 分野 | 出題 | マーク数 | 配点 | 文字数 | 500文字/分で読んだ場合 | 1200字/分で読んだ場合 |
|----|----|---|------|-----|---------|---------------|---------------|
| 1 | 評論 | 香川雅信『江戸の妖怪革命』 ※設問中に芥川龍之介「歯車」 | 12 | 50 | 約7,110 | 14分13秒 | 5分56秒 |
| 2 | 小説 | 加能作次郎「羽織と時計」 ※設問中に宮島新三郎 「師走文壇の一瞥」 | 9 | 50 | 約7,920 | 15分50秒 | 6分36秒 |
| 3 | 古文 | 『栄花物語』 ※設問中に『千載和歌集』 | 8 | 50 | 約3,450 | 6分54秒 | 2分52秒 |
| 4 | 漢文 | 欧陽脩『欧陽文忠公集』『韓非子』 | 9 | 50 | 約2,040 | 4分05秒 | 1分42秒 |
| | | | 38 | 200 | 約20,520 | 41分02秒 | 17分06秒 |

※SRJ調べ

原稿用紙52枚分の内容を読み解くためには時間配分が大切

試験では、解く時間や書く時間に約6割が必要と言われてい

ます。日本人の平均読書速度は500～600文字のため、通常の速

さで読んでいては解く時間が足りなくなってしまう。また、古文や漢文では2回、3回と文章を読みなおすよ

ね。そのため、受験では通常の2倍～3倍の読書速度が必要

となってきます。

大学入学共通テスト(2021年)約20,520文字(国語)

| 読書速度 | 試験時間 | 80分 |
|------------------------------|-------|-------|
| 平均速度 500文字/分 で読んだ場合 | 読む41分 | 解く39分 |
| 受験に必要な 1200文字/分 で読んだ場合 | 読む17分 | 解く48分 |

※試験時間の6割を解く時間として計算

数学、理科、社会でも文字数増

地理歴史や現代社会でも文字数は15,000文字前後と多くなっており、500文字/分で読むと時間が足りなくなってしまう。

2021年実施 大学入学共通テスト 文字数

※SRJ調べ

| 教科 | | 文字数 | マーク・解答数 | 試験時間 | 解く為に必要な時間 | 500文字/分で読んだ場合 | 1200字/分で読んだ場合 |
|------|-------|---------|---------|------|-----------|---------------|---------------|
| 国語 | 国語 | 約20,520 | 38 | 80 | 48 | 41分02秒 | 17分06秒 |
| 地理歴史 | 世界史B | 約15,055 | 34 | 60 | 36 | 30分07秒 | 12分33秒 |
| | 日本史B | 約13,732 | 32 | 60 | 36 | 27分28秒 | 11分27秒 |
| | 地理B | 約12,419 | 32 | 60 | 36 | 24分50秒 | 10分21秒 |
| 公民 | 現代社会 | 約19,533 | 30 | 60 | 36 | 39分04秒 | 16分17秒 |
| 数学 | 数学Ⅰ A | 約7,613 | 55 | 70 | 42 | 15分13秒 | 6分21秒 |
| | 数学Ⅱ B | 約7,817 | 64 | 60 | 36 | 15分38秒 | 6分31秒 |
| 理科 | 物理 | 約7,199 | 19 | 60 | 36 | 14分24秒 | 6分00秒 |
| | 化学 | 約7,159 | 17 | 60 | 36 | 14分19秒 | 5分58秒 |
| | 生物 | 約11,807 | 16 | 60 | 36 | 23分37秒 | 9分51秒 |
| | 地学 | 約7,892 | 15 | 60 | 36 | 15分48秒 | 6分35秒 |

世界史では地図、絵画、写真、史料、グラフ・表などの資料読み取りが増えました。資料の読解と、知識を結びつけて解答を導き出すためには思考力が必要となり、時間がかかる問題となっています。

数学Ⅰ Aでは問題のページ数がセンター試験より7～8ページ増え、数学Ⅱ Bでも2ページほど増加しました。

データの分析や問題文の分量が多くなり、会話文章から考察する問題なども出題されました。

文字数だけ見ると時間的に余裕があるように見えますが、単純に問題を解くだけではなく、まずは問題の理解をすることにも時間がかかります。さらに見直しも念入りにしたいところ…

国語に限らず、ほとんどの教科で問題文が多くなっているため、読むスピードはもちろん必要です。そして、図表の読解や複数の資料を関連付けて考えるためには読解力や思考力が必要です。さらに、組み合わせを選ぶ形式も増えているため知識をベースとした判断力も必要となってきます。

✔まとめ

すべての教科で速読解力が求められる

- 国語の文字数は20,520文字で例年通り
- 数学では問題のページ数が大幅増
- 複数の資料・図表を関連付けて考える問題が増えた

知識の定着はもちろん必要ですが、ただ暗記するだけでなく、その背景など考えるクセをつけましょう。

思考力や読解力は、普段の読書からも鍛えられます。勉強や部活で忙しい中でも、時間をつくって読書を取り入れましょう。